

戦火のウクライナ



戦火のウクライナ（UNAIDS 公式サイトの特設ページから）
<https://www.unaids.org/en/War-Ukraine-special>

ウクライナにおける戦争が人道的な危機を招いています。人びとは家を追われ、生活や生産の基盤が破壊され、医療をはじめ重要なサービスが中断されています。

ウクライナの HIV 陽性者は推定 26 万人。この人たちも深刻な影響を受けています。その中には、生きるために毎日服用しなければならない抗レトロウイルス薬 (ARV) による治療を続けてきた 15 万 2000 人も含まれています。

ウクライナにおける ARV の在庫は複数のパートナー機関により十分な量が確保されているものの、現在の国内の状況では、その薬を必要としている人たちに届けることが極めて困難になっています。コミュニティ主導の組織がウクライナ公衆衛生センターと連携して、生命の維持に必要な ARV を提供する努力を続けています。ただし、そのこと自体が命がけの状態なのです。

紛争から逃れるためにウクライナ国内や近隣諸国に避難した人たちの多くは、命を救う医薬品の供給を定期的に受けることが困難になる恐れがあります。HIV 予防サービスも中断されています。

戦争の被害を受けている人たちを支え、助けるために、国連の合同プログラムは、世界保健機関 (WHO) や国連児童基金 (ユニセフ) など個々の機関の専門性を生かし、HIV 陽性者に救命治療薬が届くよう近隣諸国やウクライナ自体への物資輸送を支援してきました。ウクライナの政府や非政府組織とともに、世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (グローバルファンド)、米大統領エイズ救済緊急計画 (PEPFAR)、そして国連は、急速に変化する環境に対応するため、協力して活動を続けています。

すべての人の健康への権利を保障し、健康と HIV サービスへのアクセスを確保しなければなりません。UNAIDS は政府や市民社会のパートナーと協力して HIV サービスを確実に継続できるようにし、戦争の影響を受けているキーポピュレーションの人たちや HIV 陽性者をまもっていきます。

WHO および国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) とともに、UNAIDS はウクライナ近隣のハンガリー、ポーランド、モルドバ共和国、ルーマニア、スロバキアの政府、保健当局者との会合を持ち、戦火を逃れて避難した HIV 陽性者、HIV の影響を受けている人たち、そしてキーポピュレーションの人たちのニーズについて説明し、HIV サービスへのアクセスを確保できるよう支援していきます。

戦争を終わらせ、ロシアの軍事攻撃に被害を受けるすべての地域に安全で妨げられることのない人道的アクセスを確保するよう求める国連事務総長の呼びかけを反映して UNAIDS は行動します。

ウクライナに対する国連の支援

国連の推定によると、ウクライナ国内では今後数カ月で1200万人に救援と保護が必要となります。また、近隣諸国では500万人以上のウクライナ難民に保護と支援が必要になると推定しています。この膨大な需要に応えるため、国連と人道支援パートナーは3月1日、ウクライナ国内にとどまる人たちと近隣諸国に逃れた難民に対する人道支援を大急ぎで確保するため、合計17億ドルの緊急要請を行いました。国際社会のかつてない寛大な対応により、要請を発表した直後に15億米ドルの拠出成約がなされています。